



YEG会長から今期目標について ——基礎作り最終章——

平成19年度が出発し、私も2年目の会長職がスタートしました。

私が会長をさせていただいている間に高松YEGの飛躍の基礎をしっかりと築いて行きたいという思いで二年目がスタートし、この2年目である19年度を基礎作りの最終章と位置づけ、しっかりと機能する組織づくりに邁進して行き飛躍へとつなげて行きたいと思えます。

そして、日頃のYEG活動を通じ、会員それぞれが日々の自己研鑽を行いYEGに加入して良かったといえるような価値ある高松YEGを築いて行きたいと思えます。

このような観点から、本年度は次の3つの基本方針のもと、積極的な事業推進を図ってまいります。

■今期方針

■第一方針／自己研鑽と自企業の発展
私達YEGは、ボランティア団体でもイベント団体でもありません。

YEGの基本は自己研鑽を計り、自社企業を発展させることにあります。

高松YEGの研修活動はもとより、さまざまな事業の参加を通じ、その中から自社企業に持ち帰れる何かを得、自らもスキルアップし、強い自社企業を作つて行くことではありませんか。

第二方針／YEGの更なる活性化



本年度は、基礎作りの最終年度と捉え、YEG組織の基礎をしっかりと築く必要があります。

その為にも会員全員の意識の向上を図って生きたいと思えます。

① 商工会議所活動の二翼を担う活動を展開していきます

② 組織基盤の確立のために会員増強を図ってまいります。

それこそが、高松YEGの飛躍につながると思えます。

第三方針／事業活動の充実と交流の推進

本年度は、個々の事業に明確な目的意識を持ち、活動を通じて体験したことを自社企業に持ち帰れるような、成

果を得られるような内容の充実を目指します。

さらに、YEGとしての人脈づくり、個々の人脈づくりのため、高松商工会議所はもとより、さまざまな外部団体と交流してまいります。

■スローガン

「立ち上げられ高松YEG！翼を広げ、更なる飛躍へ！」

■目標

会員増強 70名体制の確立

例会出席率 70%

これらを掲げ今期をスタートさせていきたいと思えます。

YEG会長 宮内和彦

会員間の情報交換に

Angel Touchを有効に利用しましょう。

●高松YEGは、YEG情報化ツール「Angel Touch」の利用を本格化しています。スケジュール作成や電子会議室など多彩な機能が充実しています。操作に不明な点があれば、事務局までお問い合わせ下さい。

Angel Touch
powered by groupware E-DESK

<https://at.yeg.jp>

前年度事業のひとコマ

総務会員拡大委員会だより

会員相互の絆を紡いで
信頼、親睦を更に深めて行きたい。

昨年の12月10日に高松YEGが香川県青連親睦事業主管として、ポウリング大会及び懇親会を総務会員拡大委員会が担当し、他のYEGの方々にも多数の参加をいただき無事に親睦することが出来ました。ポウリング場は、浜ノ町のシーサイドボウル高松で、当日、12:30に集合、13:00から2ゲームを行なったのですが、予定より早く終わってしまい、懇親会場である海樂亭きららでは予約時間より30分早く懇親会を行いました。そのあと2次会に流れて行き盛り上がりました。参加のみなさまが楽しい時間を過ごされたと自分なりに感じた、総務会員拡大委員会の副委員長の北谷でした。

今回、当委員会の杉山委員長が所席で欠席であったため、私、北谷がポウリング大会の司会進行を行い、懇親



▲世界の中心で愛を叫ぶ俺…。



▲平尾全日本ラグビー監督を迎えて。



▲美女もおもわず興奮のさぬきうどんです。



▲高松YEG軍団別府に参上。ヨロシク!!



▲歴代3会長が揃いふみのショット。



▲香川のうどん、いっぺん食べてんまい。



▲大分での懇親会も大いに盛り上がりました。

会は、西川副会長が司会進行を行いました。委員会では今回の企画検討中に司会進行をお願いしますと言われる時は正直、不安でした。高松YEGに入会してまだ、2年目で高松YEG内の行事でも前に立って司会もした事がない私が県青連の知らない人もいなかで出来るのかな、高松YEGの恥にならないかなと考えましたが、断る理由が見つからないまま引き受けてしまいました。

ですが、当日は、田村直前会長、中條県青連会長、西川副会長、真鍋さんのフォロワーがあつて何とか乗越える事が出来ました。みなさま、ありがとうございました。ゲームは、おなじレインのメンバーに高松の人がいなくて、みんなバラバラになっていて最初はよそよそしかったのですが、ゲームが進むに連れてとなりのレインの方々とも盛り上がってきました。高松YEGのメンバーの人も気さくでフランクな人ばかりですが、坂出YEGや観音寺YEG、ほかのYEGの人たちも楽



しい人ばかりですがに商工会議所の青年部だなど思いました。表彰式の司会が終わった時は、ホッと息でした。

北谷副委員長はじめ、当委員会メンバーの皆様のお役に立てますよう各自の役割を認識し、これからも、ホームページの更新や、会報の定期発行をはじめ、情報発進を通じて様々な方々との親睦を深め、会員の皆様に貢献できるよう当委員会を共に作って行く所存です。

よろしくお願い致します。

総務会員拡大委員会理事、委員長
杉山 国人



▲四国ブロック会議にて



▲大舞台でも堂々たる演説です。

前年度事業のひとコマ

企画委員会だより

青年部が一丸となって
事業への取り組みを。

高松商工会議所青年部平成19年度
企画委員会委員長を拝命いたしま
した、鎌田浩一と申します。

どうぞ1年間宜しくお願いします。

平成19年度の企画委員会は、私が高
校まで野球をやっておりました関係
で、野球でたとえるところの走・攻・守
をベースに、「創・広・守」をテーマに1
年間取り組みたいと思っております。

まず「創」については「創造」の頭文
字を引用いたしました。高松YEG
は現在「サンセット納涼まつり」をは
じめ、「地球のステージ」や「ヤシマで
遊ぼう」など、市民から受け入れら
れる事業を展開しております。今年
度は、この事業も継続しつつ、平成22
年の全国会長研修会誘致に向けて、
ただ事業を展開するのではなく、会
員一人ひとりが高松YEGとして考
え、行動し、そして市民の先導者たる
YEGとして誇りがもてる様、ソフト

面も創造できる事業を展開したい
と考えております。

そのひとつが今年度開催いたします
「高松YEGまつり」です。企業の発
展無くして、YEGの発展無しと言
葉を胸に、継続事業として会員皆様
と一緒に創造してまいる所存です。次

に「広」については「広報」の頭文字を
引用いたしました。今後の継続事業
に際しましては、高松YEGを企画
委員会として必ず広報をセットにし
た内容で進めてまいりたいと思いま
す。市民に認められるYEG、そして

市民の先導者YEGを目指し、どの
ような小さな事業も広く市民に
PRを行い、我々の活動を理解いた
だき、認められるYEGを目指します。

最後に「守」については「守る」の言葉
を引用いたしました。過去の諸先輩
が築きあげたこの高松YEGを恒久
的に受け継ぎ、そして将来繁栄し続
ける団体として守り続けることが企
画委員会含め高松YEGの目標だ
と考えます。そのために企画委員会
として事業提案・事業運営だけな



▲パパってサンタさんだったんだ!!



▲明日の日本の未来は俺達に任せなさい。



▲数字を読む力を養う会計勉強会



▲へーい、いらっしゃい!!/安いよ、安いよ!!



▲のら仕事ならオラに任しとけーか。



▲新たな決意を胸に秘めて。



▲様々な勉強会、セミナーを開催。



企画委員会委員長
鎌田浩一

く、各委員会への積極的な参加を進
め、過去の教えを守りつつも、繁栄し
続ける団体として積極的に何事にも
チャレンジし、活動してまいります。
野球では、「走・攻・守」のバランスが優
れたチームほど優位にたちます。
どれかが良くてどれかが悪くては必
ずといつていいほど、チームとしては安
定しません。
高松YEG企画委員会は「創・
広・守」テーマのもと、1年かけてバラ
ンスのよいチーム作りを目指し活動し
てまいります。そのためにも各委員
会とも連携を図り、ご指導ご鞭撻を
頂戴しながら1年間活動していく所
存です。何卒宜しくお願い申し上げます。



▲今日は奥様孝行が出来たでしょうか?



▲イベントを終えて、ホッと一息のメンバーです。

研修委員会だより

YEG活動を通して皆さんと共に研鑽し、さらなる成長を。

19年度を迎え、研修委員会として去年18年度に入る前、宮内会長から研修委員会の委員長を任命していただきました。

自分自身不安と期待とで18年度を迎え4月から研修委員会委員長として活動させていただきました。委員長と言う大役を頂いたもの、右も左も分からない中、宮内会長をはじめ高松YEGメンバーの方々には心強いサポートをして頂き感謝ばかりです。

研修委員会を運営していく中で研修委員会メンバーも精力的に参加協力して頂き18年度は色々活動させていただきました。

高松YEGとして研修委員会の立場で例会事業等では研修事業もさせていただき、高松YEGを原点から見直そうと呼びかけにも高松YEGメンバーには沢山の協力を頂き研修



▲先陣方をお迎えして緊張の面持ち。



▲名司会ぶりをいかになく発揮？



▲家族サービスもかかきません。



▲地球のステージ感動のフィナーレ



▲大ステージにいささか緊張の面々。



▲みんなで記念写真。イイ笑顔です。



▲地球のステージ成功おめでとう!!

委員会委員長としてまた二人のメンバーとして本当に嬉しかったです。

19年度は宮内会長の元で更なる飛躍を目指し研修委員会の研修委員会例会の内容を18年度の研修事業を踏まえて活動計画しております。

19年度の研修委員会は上期を研修事業の充実を計画し、新入会員の方とメンバー皆様で高松YEGを今以上に理解し、行動に移せる青年部として活動して行きたいと考えています。

また下期は上期の経験を生かし、研修マニュアルの作成、また青年部として提言書の作成等など大きな目標を掲げ内容の充実した研修委員会活動を考えております。

18年度を振り返り19年度に向けて心から感じることは、皆さんの協力無しでは委員会また例会、高松YEG活動はできません。

18年度は沢山の協力を頂きました。改めて19年度皆様には今まで以上の協力を、お願いしたいと思います。



高松YEGメンバーの皆さんと一緒に研鑽しステップアップしましょう。

敬 具

研修委員会委員長

山岡 正季



▲サンセット祭りにて、ちょっとひととき。



▲高知YEGとの交流会

前年度事業のひとコマ



▲楽しいクリスマスパーティー



▲青空の下でいい汗を流す。しんどい!



▲首の痛さも忘れてYEGの仕事に取り組む俺。



▲女性陣の活躍なくして成功なし。



▲土佐っこに壮大な夢?を語る。



▲例会風景



▲真剣に議題に取り組む。

対外交流特別委員会だより

岡山YEGはじめ他団体との
友好関係を築き交流を深めたい。

会員の皆様、各委員会にて益々、自分の役割を頑張られている事を頼もしく思います。

さて、会報に各委員会から一言との申し出により筆を走らせておりますが、対外交流委員会では、本年度が始めての活動と言う事もありまして、堅苦しい事は先送りにして、他団体との友好的な交流を一番に考えて行きたいと思っております。その事を踏まえて、早速6月14日予定の岡山商工会議所青年部との合同例会を段取りすべく、さる4月18日、田村・山下・井上以上3名で、岡山商工会議所に出席してまいりました。そのことを、報告を兼ねてご紹介いたします。

岡山商工会議所青年部は創部16年ながら、今回の市町村合併にて総社市商工会議所青年部の約80名を含めて約280名の大所帯になったそうで

す。その第二回合同の例会が我々も参加する例会(6月14日)であります。当日は約200名での例会になるそうで、我々もそれ程の規模の例会は未経験なため、多に得るものがあるように思います。

その例会が終わり、その後の予定は岡山の青年部の好意により、高松商工会議所青年部メンバーの参加人数と同数の方との懇親会をイベントして頂いております。

懇親会の中身は我々の要望を聞いて頂ける予定ですので、5月例会にて揉み直したいと思っております。

報告事項は是位ですが、対外交流委員会として会員各人が岡山との交流という事で考えて頂きたいことを書きだして、将来の宿題としたいと思います。

1、岡山・香川県は、ラジオ・テレビと放送圏が同じなのに近くて遠く、お互いの歴史・文化を知っているでしょうか?

2、瀬戸内海に同じ恵を得ているのに、お互い対峙していないだろうか?

3、日本海・瀬戸内海・太平洋と縦軸に考えて、鳥取、岡山、高知と連携を深めているのを我々はこのままでいいのだろうか?

4、道州制を考えた場合、岡山と香川の関係は?

以上、私の個人的疑問であります。皆様も個人個人考えて頂ければ、もっと身近に岡山を理解でき、しいては、香川を知ることが出来るのではと思います。

理事・対外交流特別委員長

井上 雅博



▲ウイーッ、グブー
すでに出来上がっています。



▲本日の会議の成果はいかに。大分にて。



華やかにパーティーを彩って

なんとも色気が無い写真です。

2006 PHOTO COLLECTION

メモリアルフォトコレクション



心身共に明るく輝いています。



ある時はビジネスマン
ある時は屋台のおっちゃん



真面目にやるときはやります!!



今日のお洒落は決まってるかな



微妙な距離を保つのが夫婦円満の秘けつ?

【平成19年度スケジュール】

4月	「高松ファイブアローズ」 ホームゲーム観戦視察研修 4月例会会員親睦交流会 (ROUND1高松他)
5月	平成19年度定時総会・ 親睦会
6月	6月例会・岡山YEGと 交流会(岡山)
7月	7月例会・地球のステージ 高松YEGと高松商工会議 所役員・議員等との交流会
8月	サンセット納涼まつり
9月	男島水仙郷球根植付 ボランティア(男木島) 9月例会・高知YEGと交流 (高知)
11月	全国大会視察
12月	クリスマス家族交流会
H20 1月	高松商工会議所「新春名刺 交換会(当所会館) 新年会
2月	第25回全国会長研修会(長崎) 水仙郷視察(男木島)
3月	第63回理事会・臨時総会・ 懇親会

【平成18年度主な活動実績】

◆JCI ASPAC高松大会協働プログラム「地球のステージ」
当所青年部(高松YEG)は、5月28日にサンポートで行われた「地球のステージ」において、地球のステージ高松実行委員会(山岡正季委員長)を組織し、JCI ASPAC高松大会協働プログラムとして実施しました。

◆会計勉強会

6月9日と7月7日の2回、中山会計事務所所長 中山正文税理士に講師をしていただき、会計勉強会を実施しました。第1回は「財務諸表の見方」 第2回は「経営分析の事例」の勉強をしました。

◆定時総会

6月に定時総会を開催しました。高松丸亀町商店街振興組合 専務理事 古川康造氏に講師をしていただき、「これからの商店街について」講演していただきました。

◆高松YEGと役員・議員等との交流会

7月、全日空ホテルクレメント高松にて、高松YEGと役員・議員等との交流会を持ちました。

◆サンセット納涼まつり出展事業

8月、「さめぎ高松まつり」の時期に、高松まつり振興会 サンポートピアガーデン実行委員会はピアガーデンを実施しました。「正調一合まいた」の演舞や、アマチュアバンドによる演奏・歌、ダンスパフォーマンスや高松ファイブアローズ・カマタマーレ讃岐・香川オリブガイナズ等、高松を本拠地とするプロスポーツチームを紹介するイベントが行われました。

◆男木水仙植付ボランティア事業

「男木水仙郷をつくる会」は、島に群生する日本水仙の球根を遊歩道沿いに植え付け、日本一の「水仙郷」を創出しようと取り組んでいます。9月、高松市の観光振興の観点から趣旨に賛同し、植付作業に協力しました。

◆原田隆司 日本YEG副会長・次年度会長予定者との交流会

原田隆司 日本YEG副会長との交流会を9月に実施しました。

◆さめぎ映画祭 協賛事業「愛を叫ぶ大声コンテスト」協力事業

映画「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地・庵治町において、さめぎ映画祭 協賛事業 「愛を叫ぶ大声コンテスト」が行われました。高松YEGは、釜玉うどんブースを出展しました。

◆日本YEG全国大会 大分大会 大分うまいもの物産展出展事業

日本商工会議所青年部連合会 全国大会大分大会において企画された大分うまいもの物産展に、高松YEGはうどんブースを出展しました。

◆高松商工会議所第1回会員親睦ゴルフ大会

高松商工会議所第1回会員親睦ゴルフ大会に参加するとともに、高松YEGとして、受付業務及び表彰式等の運営協力を行いました。

◆香川県商工会議所青年部連合会親睦ボウリング大会・懇親会

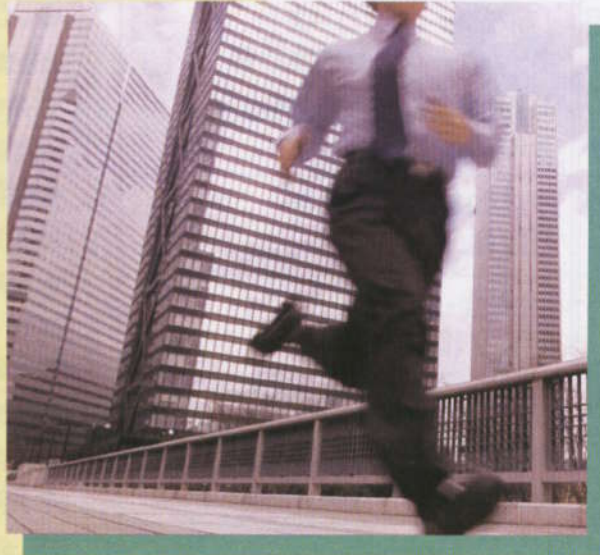
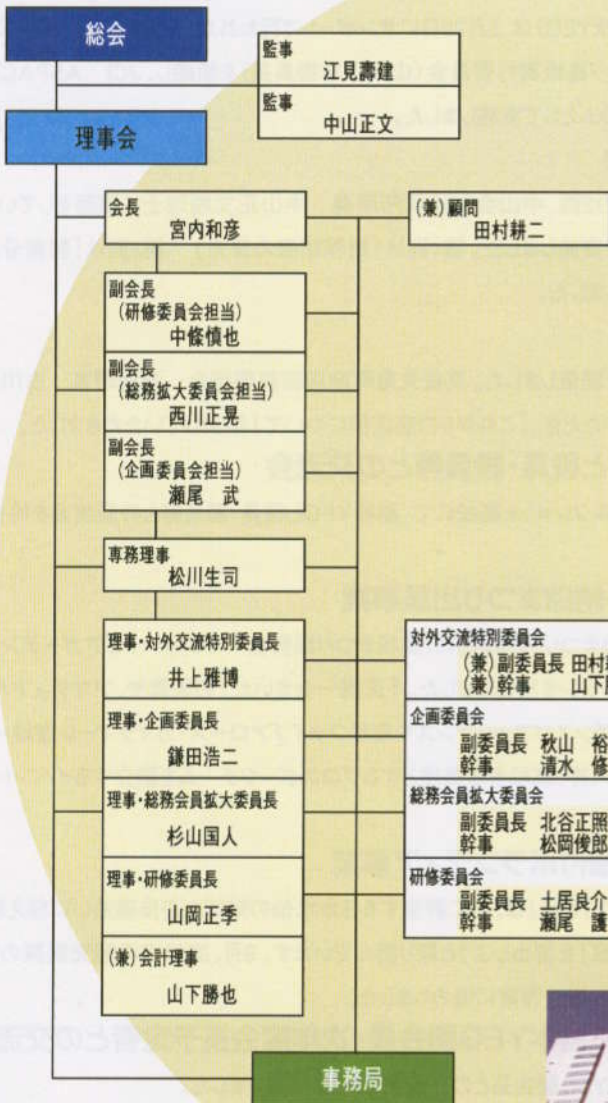
シーサイドボウル高松にて親睦ボウリング大会・懇親会を行いました。

◆例会・クリスマス家族交流会

例会に家族を招待しました。クリスマスパーティーを行いました。



平成19年度 高松商工会議所青年部組織図



対外交渉特別委員会 (兼)副委員長 田村耕二 (兼)幹事 山下勝也	鎌田浩二(兼) 杉山国人(兼) 山岡正季(兼) (実行委員:全会員)
企画委員会 副委員長 秋山 裕 幹事 清水 修	菅田貴志 板東和良 福島秀孝 藤澤直弘 伏見浩一 美貴信正 宮内吉和 山崎浩志
総務会員拡大委員会 副委員長 北谷正照 幹事 松岡俊郎	阿部妙子 大川原誠人 大塚 均 川西健雄 清水 透 関師 豪 津久弘幸 新谷 稔 野田頼孝 平尾隆則 村川武慶 山下和彦 吉田淳一
研修委員会 副委員長 土居良介 幹事 瀬尾 護	生島直樹 生駒 学 大石真裕 川淵敬三 田井臣徳 高島祥之 西尾公利 横山佳弘 渡辺正司 石崎道夫 梶聡一郎 久保昌士 塩津孝之 真砂 博 多田桂三 神野一生



新入会員
募集中!!



順不同

紹介
コーナー
新しい仲間です。
YEGの
新会員

瀬尾 護
四国コカ・コーラ
人事グループリーダー

中野 秀俊
西日本放送サービス
課長

真砂 博
真砂書店
常務

石崎 道夫
キリンビール
営業担当部長

塩津 孝之
エスベリア
取締役

多田 桂三
連絡事務所予約センター
所長

梶 聡一郎
アロバー
培煎人

久保 昌士
カーサロン久保兄弟

神野 一生
フジラベル
旅行取扱管理者

佐藤 直樹
森商事
営業部 課長